

職員ペンリレー

松尾 健司
宇久高校 教頭



教頭という役職は、なかなか説明が難しい立場です。担任でもない、部活の顧問でもない。でもなぜか、毎日とても忙しい。何をしているかと聞かれると、つい「だいたい何でもやっています」と答えてしまいます。朝から山積みの書類に判を押し、コピー機の紙詰まりを直したと思えば、電話が鳴り、その間にパソコンが不機嫌になり、トイレに虫が出たとの通報が入れば、ハエ叩きを持って現場に向かいます。もはや何の職業なのか、自分でもよくわかりません。それでも、「困ったら教頭先生」と思ってもらえるのはありがたいことです。教頭とは、学校の裏方のようなもの。誰かが困っているときに、さりげなく支える存在でありたいと思っています。

学校は、人と人が出会い、育ち合う場所です。ICTが進んでも、教育制度が変わっても、生徒の笑顔や、先生方の奮闘、生徒同士の助け合い・・・そうした風景は、変わらずこの場所にあります。教頭の仕事は、目立たないけれど、確かに誰かの安心や学びを支えている。

「教頭先生って何でもできますね」と言われることがありますが、実際は「何でもできるふりが得意」なのかもしれません。それでも誰かの役に立てるなら、それでいい。

今日もまた、何かが起こる予感がします。でも私は走ります。教頭、それは学校を支える静かな万事屋（よろずや）。そして、なかなか楽しい仕事です。

さて、実はこの文章、「学校の広報誌に載せるため、教頭の仕事をテーマにした短いコラムを書いて」と、ChatGPTに作らせたものである。具体的な情報を一切与えていないのにも関わらず、世間ではあまり知られていないこの仕事を、少しだけカッコつけながらいい感じにまとめてくれている。

でも、出来上がった瞬間に小さな罪悪感が芽生えてしまった。大事な原稿作成をChatGPTに任せて、ラクしていいのだろうか。どうしたらいい？

そうだ、ChatGPTに聞いてみよう。



中高合同体育大会

宇久高校の「今」をお届けします。



5月11日（日）宇久高校にて、宇久中学校との合同体育大会を開催しました。たくさんの方々にお越しいただきありがとうございました。



閲覧ありがとうございます



学年の窓News!

宇久高校の「今」をお届けします。

各学年の職員から



ユビトマ企画
かくれんぼ

1年生



2年生

『第1学年 高校体育大会デビュー』

5月11日に中高合同体育大会が実施されました。高校生としての体育大会でしたが、先輩として頼もしい姿を見せてくれました。クラスの団結も高校生としての自覚も一段と増す行事となりました。このパワーを普段の学校生活や次の学校行事でもどんどん発揮してほしいです。(角田)

来年度の体育大会は、中高合同体育大会として開催され、私たち高校生が中心となって運営を担うこととなります。今年の体育大会では、3年生の皆さんが見せてくれたリーダーシップや団結力に、多くの後輩が感動し、学ぶことができました。その姿を胸に、来年はさらに充実した体育大会を創り上げてほしいです。また、2年生の探究活動「Uku Labo」では、体育大会のさらなる改善を目指して、現在調査活動を進めています。今後、皆さんにアンケートへのご協力をお願いすることがあるかもしれません。その際は、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。(石見)



3年生

最後の体育大会！

3年生にとって、最後の体育大会が終わりました。開会前に二人に意気込みを聞くと、「勝ちたい」「無事に終わらせたい」とそれぞれの目標が。結果を見ると、どちらもその思い通りのすばらしい体育大会になったようです。下級生たちがのびのびと活躍しているところから、二人の優しいリーダーシップが伝わってきました。そのように周囲を支えることができるようになったのも、これまで地域の皆さまをはじめ、先生方、他学年の生徒など多くの人と関わり合いながら成長してきたおかげだと思います。残りの学校生活にも懸命に取り組んで参ります。今後も変わらぬご指導・ご声援をよろしくお願いいたします。(村里)

